

20250304 話「6.話_無関心な人が多い区域で伝道する時、神に頼る」

(120] 上手に話を締めくくる/5分)

1. 野外宣教は忍耐が求められる、と少し負担に感じておられるか？

実は預言者エレミヤも忠節な書記官バルクもエホバのご意思を行う点で、疲れを感じることもあった。(エレ 45:2, 3) (エレ 20:18) 相当なストレスを感じていたこと分かる。

私たちはそこまで厳しいストレスを感じないとしても、同様の感情に襲われることがあるか？

2. では野外で無関心や反対に直面するときどうすれば良いか？ 神に依り頼むことは大切

エレミヤの模範に注目 (エレ 17:7, 8) 暑さや干ばつの影響を全く受けない訳ではなくても、

「エホバに頼る人は、それを気にせず、心配せず、実を結ぶのを止めない」と表現。

エレミヤは奉仕や実を生み出す活動を止めず、エホバに依り頼み続けた。何を学べる？

つまり野外宣教を続けることはエホバに頼る優れた方法で、それで様々な祝福に与えられる。

3. 実際にどんな祝福を経験しているか？

霊的パラダイスに導かれ、全巻揃った神の言葉や、忠実で思慮深い奴隷を通して適切な時に供給される霊的食物や適切な指示、支え合える大勢の仲間を与えてくださっている。

エホバにまだ仕えていない方々と比較するとその違いは明らか (イザ 65:13, 14) 喜び叫べるとりわけ野外宣教は、エホバがエホバの証人だけに許可して下さった、祝福となる恵まれた仕事と言える。人々の反応によってその喜びが無くなることない。本当に感謝しているか？

4. (引き続きエホバに頼り、伝道活動を楽しんでいく)

今のところエレミヤの時代ほど過酷な区域で奉仕している訳ではないが、時に落胆することがあっても、皆さんはエホバの支えの下で、奉仕を良く頑張っていて続けてこられたのでは？

ではこれからもエホバに頼りつついろいろな人を尋ねて、私たちの伝道活動を喜んでくださるエホバからの祝福を楽しんでいく。